

⑤都市施設

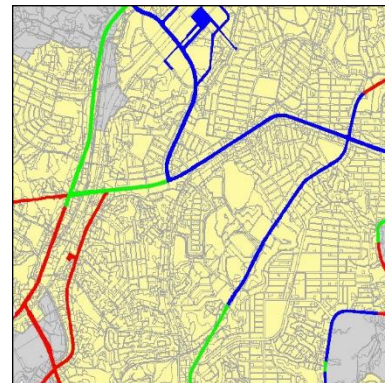
データ項目	C0501 都市施設の位置・内容等																																						
収集方法	【収集項目】 都市計画決定年月日、都市施設名称、進捗状況、事業期間 ・調査内容については、次に列挙したものなどを対象とする。 都市高速道路、道路、水道、下水、公園、河川、都市高速鉄道、その他の施設 【収集範囲】 都市計画区域 【収集単位】 都市計画施設毎 【収集方法】 都市計画図書、都市計画総括図(都市施設)、庁内資料等から収集 <table><tr><th>収集データの例(最新年次)</th></tr><tr><td>都市計画図書</td></tr><tr><td>都市計画総括図(都市施設)</td></tr><tr><td>庁内資料等(都市施設に関する図面等)</td></tr></table> 【調査基準日】令和8年3月 【留意事項】 都市計画法第11条第1項第1号～11号に定めるものを対象とする。	収集データの例(最新年次)	都市計画図書	都市計画総括図(都市施設)	庁内資料等(都市施設に関する図面等)																																		
収集データの例(最新年次)																																							
都市計画図書																																							
都市計画総括図(都市施設)																																							
庁内資料等(都市施設に関する図面等)																																							
データ作成方法	<GIS データ> <table><tr><th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr><tr><td>①</td><td>C05011_都市施設の整備状況_面</td><td>面</td></tr><tr><td>②</td><td>C05012_都市施設の整備状況_線</td><td>線</td></tr><tr><td>③</td><td>C05013_都市施設の整備状況_点</td><td>点</td></tr></table> <原典リスト> <table><tr><th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr><tr><td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※都市計画図書、都市計画総括図(都市施設)、庁内資料等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇 ※原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記載</td></tr></table> <調書> ・区間・区域別に事業化されているものは、区間、区域別の事業期間を記入し、備考欄に区間区域を記入する。 ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例 (〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table><tr><th>図面対象番号</th><th>決定年月日※1</th><th>都市施設名称</th><th>都市計画決定事項</th><th>事業期間※2</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>～</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※1 当初の決定年月日、都市計画の変更を行った場合は変更した年月日について、古い順に記入する。都市計画の変更を行った場合、その目的について備考欄に記入する。 ※2 左側に事業開始年月日、右側に事業完了年月日を記入。現在事業中のものは事業期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。また、計画決定時にすでに完成しているものについては、事業期間は記入せずその旨を備考欄に記入する。また、認可を受けていないものについてはその旨を備考欄に記入する。		データ項目	データ型	①	C05011_都市施設の整備状況_面	面	②	C05012_都市施設の整備状況_線	線	③	C05013_都市施設の整備状況_点	点	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※都市計画図書、都市計画総括図(都市施設)、庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇 ※原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記載	図面対象番号	決定年月日※1	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間※2	備考					～							
	データ項目	データ型																																					
①	C05011_都市施設の整備状況_面	面																																					
②	C05012_都市施設の整備状況_線	線																																					
③	C05013_都市施設の整備状況_点	点																																					
項目	原典データ	年次	入手先																																				
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※都市計画図書、都市計画総括図(都市施設)、庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇 ※原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記載																																				
図面対象番号	決定年月日※1	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間※2	備考																																		
				～																																			

< 整備状況図 >

- ・立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。
- ・データの基準日等を図面の右下に記載する。

記載例

【都市計画道路の例】



都市計画道路の整備状況

- 整備済区間
- 事業中区間
- 計画中区間

都市計画区域
市街化区域

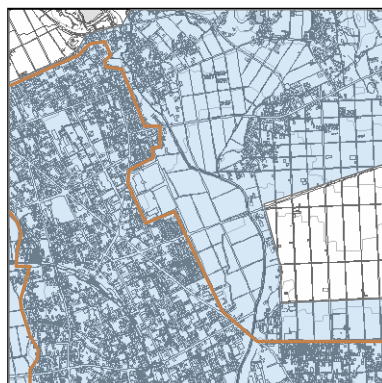
※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

・整備状況図(都市計画道路)凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
都市計画道路の整備状況		
整備済区間	0,0,255	なし
事業中区間	0,255,0	なし
計画中区間	255,0,0	なし
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

【上水道の例】



上水道の整備状況

- 給水区域(完成済)
- 計画給水区域

都市計画区域
市街化区域

※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

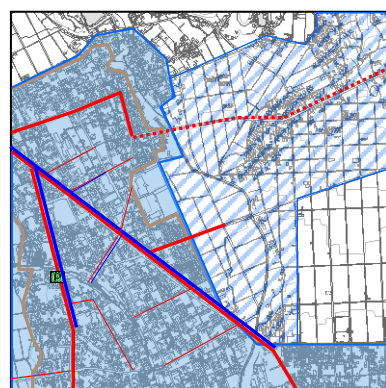
(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

・整備状況図(上水道)凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
上水道の整備状況		
給水区域(完成済)	190,230,255	□ 128,128,128
計画給水区域	70,140,170	□ 70,140,170
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

【下水道の例】

・管路の幹線、処理場については、傍に名称を記入する。



下水道の整備状況	
供用開始区域	事業認可区域
計画区域	
下水道管路の整備状況	
汚水管路(整備済)	汚水幹線(計画決定区間)
汚水支線(整備済)	汚水支線(計画決定区間)
雨水幹線(整備済)	雨水幹線(計画決定区間)
雨水支線(整備済)	雨水支線(計画決定区間)
下水道施設の整備状況	
処理場(整備済)	処理場(計画決定済)
ポンプ場(整備済)	ポンプ場(計画決定済)

都市計画区域
市街化区域

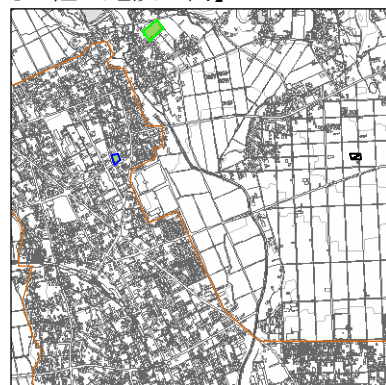
※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

・整備状況図(下水道)凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	緑 色 指 定 (R,G,B)	パターン
下水道の整備状況			(緑 パターン)
供用開始区域	150,200,255	0,60,255	
事業認可区域	190,220,255	128,128,128	
計画区域	0,60,255	0,60,255	左下がり斜線
下水道管路の整備状況			
汚水幹線(整備済)	なし	255,0,0	太線
汚水幹線(計画決定区間)	なし	255,0,0	太線、点線
汚水支線(整備済)	なし	255,0,0	
汚水支線(計画決定区間)	なし	255,0,0	点線
雨水幹線(整備済)	なし	0,0,255	太線
雨水幹線(計画決定区間)	なし	0,0,255	太線、点線
雨水支線(整備済)	なし	0,0,255	
雨水支線(計画決定区間)	なし	0,0,255	点線
下水道施設の整備状況			(面 パターン)
処理場(整備済)	0,128,0	0,0,0	左下がり格子
処理場(計画決定済)	なし	0,0,0	
ポンプ場(整備済)	0,128,0	0,0,0	左下がり格子
ポンプ場(計画決定済)	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	0,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

【その他の施設の例】



凡例	
都市計画公園(計画中)	都市計画公園(事業中)
都市計画公園(整備済)	都市高速鉄道
一団地の住宅施設	汚物処理施設
ごみ処理場	火葬場
その他	市街化区域
都市計画区域	

都市計画区域
市街化区域

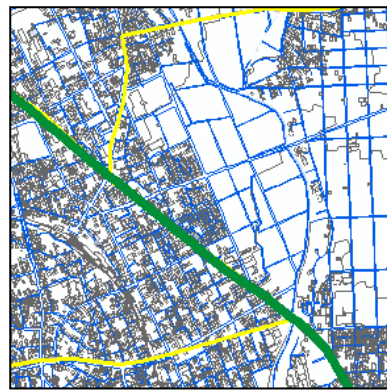
※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

・整備状況図(その他の施設) 凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	面 パターン
その他の施設の整備状況			
都市計画公園(整備済)	100,200,20	0,0,255	
都市計画公園(事業中)	100,200,20	0,255,0	
都市計画公園(計画中)	100,200,20	255,0,0	
都市高速鉄道	なし	0,0,255	太線
一団地の住宅施設	190,0,0	0,0,0	左下がり格子
汚物処理施設	0,0,255	0,0,0	左下がり格子
ごみ処理場	0,180,80	0,0,0	左下がり格子
火葬場	255,0,0	0,0,0	左下がり格子
その他	0,0,0	0,0,0	左下がり格子
都市計画区域	なし	0,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

データ項目	C0502 道路の状況																																								
収集方法	【収集項目】 位置、幅員 【収集範囲】 都市計画区域 【収集単位】 道路毎 【収集方法】 国や都道府県、市町村の道路台帳、デジタル道路地図、ベクトルタイルデータ(道路中心線:国土地理院が試験公開中で無償にてダウンロード可能)から収集 収集データの例 国土地理院ベクトルタイル提供実験／地図情報(道路中心線)(2015～) https://github.com/gsi-cyberjapan/vector-tile-experiment 道路台帳(国・都道府県・市町村) デジタル道路地図 https://www.drm.jp/より申請または購入が必要 【調査基準日】令和8年 3 月 【留意事項】ー																																								
データ作成方法	<GIS データ> <table><tr><td></td><td>データ項目</td><td>データ型</td></tr><tr><td>①</td><td>C05021_道路網</td><td>線</td></tr></table> <原典リスト> <table><tr><td>項目</td><td>原典データ</td><td>年次</td><td>入手先</td></tr><tr><td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「ー」を記載。</td><td>〇〇 ※ベクトルタイルデータ、道路台帳、デジタル道路地図等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇 ※原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記載</td></tr></table> <調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例 (〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table><tr><td>整備データ登録日</td><td>暫定フラグ</td><td>道路分類</td><td>幅員区分</td><td>有料区分</td><td>分離帯区分</td><td>自動車専用道路</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>下表による</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>...</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <道路幅員現況図> ・立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。 ・データの基準日等を図面の右下に記載する。 記載例 ・幅員の区分については、下表により設定する。 <table><tr><td>幅員区分</td></tr><tr><td>15m以上</td></tr><tr><td>6m以上 15m未満</td></tr><tr><td>4m以上6m未満</td></tr><tr><td>4m未満</td></tr></table> ※デジタル道路地図、ベクトルタイルデータを用いる場合、4m,6m,15m をそれぞれ3.5m,5.5m,13m で代替することも考えられる。		データ項目	データ型	①	C05021_道路網	線	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「ー」を記載。	〇〇 ※ベクトルタイルデータ、道路台帳、デジタル道路地図等の資料名を記載	〇〇	〇〇 ※原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記載	整備データ登録日	暫定フラグ	道路分類	幅員区分	有料区分	分離帯区分	自動車専用道路				下表による				...							幅員区分	15m以上	6m以上 15m未満	4m以上6m未満	4m未満
	データ項目	データ型																																							
①	C05021_道路網	線																																							
項目	原典データ	年次	入手先																																						
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「ー」を記載。	〇〇 ※ベクトルタイルデータ、道路台帳、デジタル道路地図等の資料名を記載	〇〇	〇〇 ※原典データの入手先がURLの場合はそのURLを記載																																						
整備データ登録日	暫定フラグ	道路分類	幅員区分	有料区分	分離帯区分	自動車専用道路																																			
			下表による																																						
...																																									
幅員区分																																									
15m以上																																									
6m以上 15m未満																																									
4m以上6m未満																																									
4m未満																																									



※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

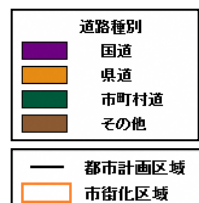
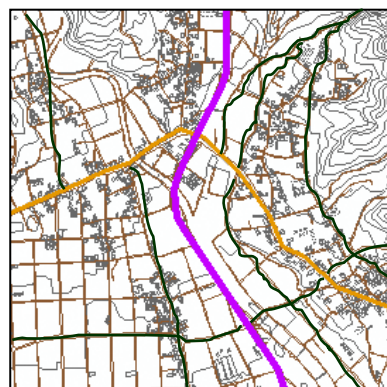
・道路幅員現況図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
道路幅員		
15m 以上	0,120,0	なし
6m 以上 15m 未満	255,255,0	なし
4m以上 6m未満	255,0,0	なし
4m 未満	0,0,255	なし
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

<道路管理者別現況図>

- ・立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。
- ・データの基準日等を図面の右下に記載する。

記載例



※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

・道路管理者別現況図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
道路種別		
国道	110,0,130	なし
県道	230,140,20	なし
市町村道	0,90,60	なし
その他	140,90,50	なし
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

集計方法

<集計表>

・市街化区域、市街化調整区域、居住誘導区域及び都市機能誘導区域毎に、幅員区分別延長を集計する。

・データの基準日等を集計表の右上に記載する。

記載例（〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

	15m以上 (m)	6m 以上 15m 未満 (m)	4m以上 6m未満 (m)	4m未満 (m)
市街化区域				
市街化調整区域				
居住誘導区域				
都市機能誘導区域				

⑥交通

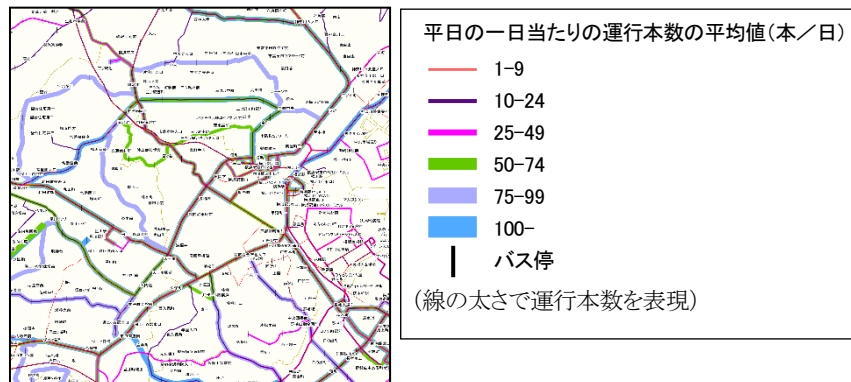
データ項目	C0604 バスの状況																																																			
収集方法	【収集項目】 乗降客数(日平均)、運行路線/停留所位置、運行頻度(本/日) 【収集範囲】 行政区域 【収集単位】 路線毎 【収集方法】 乗降客数は、一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書(運行系統別)から収集。バスデータを標準的なバス情報フォーマット(GTFS-JP)でオープンデータ公開している地方公共団体等では、それらのデータが活用可能。 ※参考として、国土数値情報において提供されるバスルート・停留所の GIS データの活用が可能 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <th style="text-align: center;">収集データの例(最新年次)</th></tr> <tr> <td>国土数値情報バスルートデータ(2010)</td></tr> <tr> <td>https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N07.html(URL^①)</td></tr> </table> 【調査基準日】 国土数値情報、各交通事業者による資料の時点 【留意事項】 本調査項目においては、調書の作成以外については任意調査とする	収集データの例(最新年次)	国土数値情報バスルートデータ(2010)	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N07.html (URL ^①)																																																
収集データの例(最新年次)																																																				
国土数値情報バスルートデータ(2010)																																																				
https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N07.html (URL ^①)																																																				
データ作成方法	<GIS データ>【任意調査】 ・ダウンロードしたデータをもとに GIS データを整備する。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>C06041_バス路線</td><td>線</td></tr> <tr> <td>②</td><td>C06042_バス停</td><td>点</td></tr> <tr> <td>③</td><td>C06043_バス利用圏_500m メッシュ</td><td>面</td></tr> </tbody> </table> <原典リスト> <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行本数</td><td>一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> <tr> <td>その他 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※国土数値情報、各交通事業者資料等の資料名を記載</td><td>2010 ※国土数値情報は古い ため参考程度とすべき</td><td>URL^①</td></tr> </tbody> </table> <調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例 (〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th>区分 (※1)</th><th>事業者名</th><th>路線名</th><th>乗降客数 (日平均)</th><th>運行頻度(平日) (本/日)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> (※1) 区分は下表により設定される数字を記入する。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th>区分(数字)</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>路線バス(民間)</td></tr> <tr><td>2</td><td>路線バス(公営)</td></tr> <tr><td>3</td><td>コミュニティバス</td></tr> <tr><td>4</td><td>デマンドバス</td></tr> <tr><td>5</td><td>その他</td></tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	C06041_バス路線	線	②	C06042_バス停	点	③	C06043_バス利用圏_500m メッシュ	面	項目	原典データ	年次	入手先	運行本数	一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書	〇〇	〇〇	その他 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※国土数値情報、各交通事業者資料等の資料名を記載	2010 ※国土数値情報は古い ため参考程度とすべき	URL ^①	区分 (※1)	事業者名	路線名	乗降客数 (日平均)	運行頻度(平日) (本/日)											区分(数字)	内容	1	路線バス(民間)	2	路線バス(公営)	3	コミュニティバス	4	デマンドバス	5	その他
	データ項目	データ型																																																		
①	C06041_バス路線	線																																																		
②	C06042_バス停	点																																																		
③	C06043_バス利用圏_500m メッシュ	面																																																		
項目	原典データ	年次	入手先																																																	
運行本数	一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書	〇〇	〇〇																																																	
その他 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※国土数値情報、各交通事業者資料等の資料名を記載	2010 ※国土数値情報は古い ため参考程度とすべき	URL ^①																																																	
区分 (※1)	事業者名	路線名	乗降客数 (日平均)	運行頻度(平日) (本/日)																																																
区分(数字)	内容																																																			
1	路線バス(民間)																																																			
2	路線バス(公営)																																																			
3	コミュニティバス																																																			
4	デマンドバス																																																			
5	その他																																																			

<路線図>【任意調査】

【路線図】

- 路線分布、運行本数に応じ、運行状況図を作成する。
- バス路線はバス停間ごとに分割し、運行本数(運行頻度)を集約する。
- バス停をラベル表示する。
- データの基準日等を図面の右下に記載する。

記載例



(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

•路線図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
平日の一日当たりの運行本数の平均値(本/日)		
1 - 9	なし	255,100,100
10 - 24	なし	90,10,130
25 - 49	なし	255,0,255
50 - 74	なし	100,200,0
75 - 99	なし	170,170,255
100 -	なし	80,170,255

⑨公害及び災害

データ項目	C0901 災害の発生状況																																																																	
収集方法	【収集項目】 既往災害(水害及び土砂災害)の位置、名称・地区名、発生年月日、被害状況 水害・震災・土砂災害等に関する災害リスク情報 【収集範囲】 行政区域 【収集単位】 災害の種別毎 【収集方法】 既往災害:庁内資料から収集 災害リスク情報:国や都道府県・市町村によりハザードマップ等が作成済みの場合に収集 ※がけ崩れ発生状況は、国土数値情報ダウンロードサービス(不動産・建設経済局)の土砂災害・雪崩メッシュデータを活用し、発生回数に関し、5kmメッシュ単位の作図が可能 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <th style="text-align: center;">収集データの例(最新年次)</th></tr> <tr> <td>国土数値情報土砂災害・雪崩メッシュデータ(2011) https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A30a5.html</td></tr> </table> 【調査基準日】 令和8年3月 【留意事項】 前回調査結果にそれ以降に発生した災害を追加し、可能な限り長期間のデータを収集する。	収集データの例(最新年次)	国土数値情報土砂災害・雪崩メッシュデータ(2011) https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A30a5.html																																																															
収集データの例(最新年次)																																																																		
国土数値情報土砂災害・雪崩メッシュデータ(2011) https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A30a5.html																																																																		
データ作成方法	<GIS データ> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>C09011_既往水害の被害区域</td><td>面</td></tr> <tr> <td>②</td><td>C09012_がけ崩れ_地滑りの発生地点</td><td>点</td></tr> </tbody> </table> <原典リスト> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※ハザードマップ、国土数値情報、庁内資料等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </tbody> </table> <調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例 (〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) 【水害(外水(洪水、高潮、津波))】 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>図面対象番号</th><th>名称・地区名</th><th>発生年月日</th><th>浸水面積(ha)</th><th>床上浸水(戸)</th><th>床下浸水(戸)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 【水害(内水)】 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>図面対象番号</th><th>名称・地区名</th><th>発生年月日</th><th>浸水面積(ha)</th><th>床上浸水(戸)</th><th>床下浸水(戸)</th><th>最大時間雨量(㎜/h)</th><th>総雨量(㎜)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	C09011_既往水害の被害区域	面	②	C09012_がけ崩れ_地滑りの発生地点	点	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※ハザードマップ、国土数値情報、庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇	図面対象番号	名称・地区名	発生年月日	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	備考	1							:							図面対象番号	名称・地区名	発生年月日	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	最大時間雨量(㎜/h)	総雨量(㎜)	備考	2									:								
	データ項目	データ型																																																																
①	C09011_既往水害の被害区域	面																																																																
②	C09012_がけ崩れ_地滑りの発生地点	点																																																																
項目	原典データ	年次	入手先																																																															
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※ハザードマップ、国土数値情報、庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇																																																															
図面対象番号	名称・地区名	発生年月日	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	備考																																																												
1																																																																		
:																																																																		
図面対象番号	名称・地区名	発生年月日	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	最大時間雨量(㎜/h)	総雨量(㎜)	備考																																																										
2																																																																		
:																																																																		

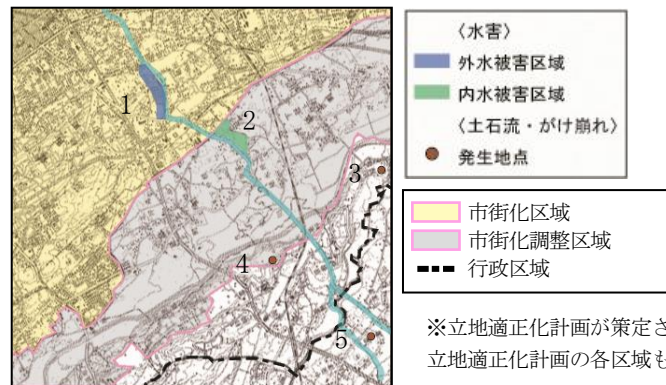
【土砂災害(土石流・がけ崩れ等)】

図対象 番号	名称・地区名	発生年月日	被害面積(ha)	被害建物棟数 (戸)	備考
3					
:					

<位置図>

- ・立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。
- ・データの基準日等を図面の右下に記載する。

記載例



※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。

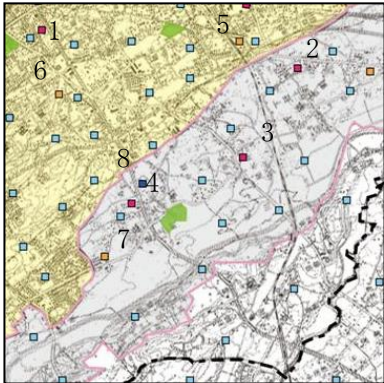
(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

外水被害区域:河川の氾濫や堤防の決壊等により堤内地に生じた被害区域

内水被害区域:中小河川、下水道等の排水不良のため堤内地に生じた湛水による被害区域

・災害の発生状況位置図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
水害		
外水被害区域	130,150,190	なし
内水被害区域	140,200,150	なし
土石流・がけ崩れ		
発生地点	170,90,50	○ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0

データ項目	C0902 防災施設の位置及び整備の状況																																						
収集方法	【収集項目】 防災施設の位置、名称、整備状況(種別、収容可能人数) 消防水利の位置 【収集範囲】 行政区域 【収集単位】 防災拠点・避難場所毎 【収集方法】 地域防災計画、消防関係資料等の庁内資料から作成 【調査基準日】令和8年3月 【留意事項】																																						
データ作成方法	<GIS データ> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>C09021_防災施設の位置及び整備の状況</td><td>点</td></tr> </tbody> </table> <原典リスト> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※地域防災計画、消防関係資料等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </tbody> </table> <防災拠点・避難場所調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例 (〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table border="1"> <thead> <tr> <th>図面対象番号</th><th>名称</th><th>種別※1</th><th>収容可能人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>〇〇小学校</td><td>(指定)避難所</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>△△運動公園</td><td>(指定)緊急避難場所</td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td>◇◇公民館</td><td>(指定)避難所</td><td></td></tr> <tr> <td>4</td><td>市役所</td><td>防災拠点</td><td></td></tr> <tr> <td>:</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※1(指定)緊急避難場所、(指定)避難所、防災拠点、消防水利の別を記入。 <位置図> ・立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。 ・データの基準日等を図面の右下に記載する。 記載例  ■ (指定) 緊急避難場所 ■ (指定) 避難所 ■ 防災拠点 ■ 消防水利 市街化区域 市街化調整区域 --- 行政区域 ※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。 (基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)		データ項目	データ型	①	C09021_防災施設の位置及び整備の状況	点	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※地域防災計画、消防関係資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇	図面対象番号	名称	種別※1	収容可能人数	1	〇〇小学校	(指定)避難所		2	△△運動公園	(指定)緊急避難場所		3	◇◇公民館	(指定)避難所		4	市役所	防災拠点		:			
	データ項目	データ型																																					
①	C09021_防災施設の位置及び整備の状況	点																																					
項目	原典データ	年次	入手先																																				
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※地域防災計画、消防関係資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇																																				
図面対象番号	名称	種別※1	収容可能人数																																				
1	〇〇小学校	(指定)避難所																																					
2	△△運動公園	(指定)緊急避難場所																																					
3	◇◇公民館	(指定)避難所																																					
4	市役所	防災拠点																																					
:																																							

・防災拠点・避難場所位置図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
(指定)緊急避難場所	255,190,0	□ 0,0,0
(指定)避難所	255,0,0	□ 0,0,0
防災拠点	0,0,255	□ 0,0,0
消防水利	0,180,240	□ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0

⑩景観・歴史資源等

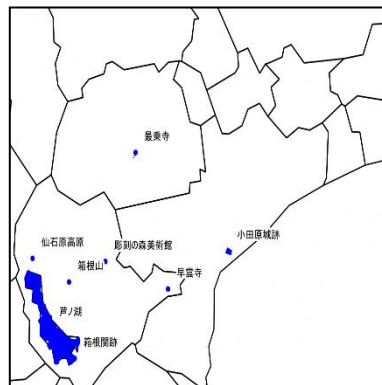
データ項目	C1002 景観・歴史資源等の状況(任意調査)																													
収集方法	【収集項目】 次に示す景観・歴史資源等の場所等 景観地区、風致地区、歴史的風致形成建造物、 国宝・重要文化財(建造物)、重要有形民俗文化財、史跡、名勝、 重要伝統的建造物群保存地区、伝統的建造物群保存地区、 国登録有形文化財(建造物)、埋蔵文化財包蔵地、景観重要建造物、 景観重要樹木、その他都道府県や市町村が選定した資源 【収集範囲】 行政区域 【収集単位】 資源毎 【収集方法】 庁内資料から収集 ※国土数値情報ダウンロードサービスにおいて、(財)日本交通公社が事務局として設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源台帳」に掲載されている観光資源のうち、評価ランクが A 級以上の観光資源データが活用可能。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <tr> <th style="text-align: center;">収集データの例(最新年次)</th> </tr> <tr> <td>国土数値情報観光資源データ(2014)</td> </tr> <tr> <td>https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P12-v2_2.html</td> </tr> </table> 【調査基準日】 令和8年3月 【留意事項】 国、都道府県、市区町村、学会、その他民間団体等から指定されている資源を幅広く収集する。	収集データの例(最新年次)	国土数値情報観光資源データ(2014)	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P12-v2_2.html																										
収集データの例(最新年次)																														
国土数値情報観光資源データ(2014)																														
https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P12-v2_2.html																														
データ作成方法	<GIS データ> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>C10021_景観_歴史資源等の状況_面</td><td>面</td></tr> <tr> <td>②</td><td>C10022_景観_歴史資源等の状況_線</td><td>線</td></tr> <tr> <td>③</td><td>C10023_景観_歴史資源等の状況_点</td><td>点</td></tr> </tbody> </table> <原典リスト> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※庁内資料、国土数値情報等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </tbody> </table> <調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例 (〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>図面対象番号</th><th>観光名称</th><th>資源の種類※1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>...</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※1 下表の例を参考に、自然系、歴史文化系、生活・産業系、眺望系の別を記入。		データ項目	データ型	①	C10021_景観_歴史資源等の状況_面	面	②	C10022_景観_歴史資源等の状況_線	線	③	C10023_景観_歴史資源等の状況_点	点	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※庁内資料、国土数値情報等の資料名を記載	〇〇	〇〇	図面対象番号	観光名称	資源の種類※1	...					
	データ項目	データ型																												
①	C10021_景観_歴史資源等の状況_面	面																												
②	C10022_景観_歴史資源等の状況_線	線																												
③	C10023_景観_歴史資源等の状況_点	点																												
項目	原典データ	年次	入手先																											
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※庁内資料、国土数値情報等の資料名を記載	〇〇	〇〇																											
図面対象番号	観光名称	資源の種類※1																												
...																														

	点	線	面
自然系	・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等	・稜線 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界	・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地
歴史・文化系	・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等	・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘割り、運河	・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)
生活・産業系	・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等	・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道	・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地
眺望系	・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイ ストップ	・ピスタ ・シークエンス	・パノラマ

<位置図>

- ・資源の名称・位置がわかるように地図上に図示する。
- ・データの基準日等を図面の右下に記載する。

記載例



(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

・景観・歴史資源等の状況位置図凡例

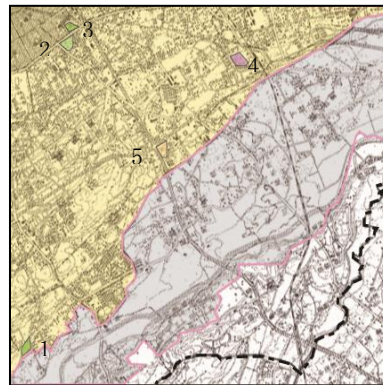
項目	面 色 指定(R,G,B)	縁 色 指定(R,G,B)
景観・歴史資源等	0,0,255	なし

データ項目	C1003 レクリエーション施設の状況(任意調査)																																								
収集方法	【収集項目】施設名、設置主体、施設規模、利用者数 ※対象施設:野球場、陸上競技場、サッカー場・ラグビー場、テニスコート、ゴルフ場、水泳プール、その他スポーツ施設、ボート場、ヨットハーバー、海水浴場・潮干狩、遊園地、動物園、植物園、競輪・競馬場、観光有料道路、サイクリングコース、ハイキング・登山コース、自然歩道、キャンプ場 等 【収集範囲】行政区域 【収集単位】施設毎 【収集方法】庁内資料、河川水辺の国勢調査結果、公園管理者・河川管理者による既存調査から収集 【調査基準日】令和8年 3 月 【留意事項】																																								
データ作成方法	<GIS データ> <table><tr><td></td><td>データ項目</td><td>データ型</td></tr><tr><td>①</td><td>C10031_レクリエーション施設_面</td><td>面</td></tr><tr><td>②</td><td>C10032_レクリエーション施設_線</td><td>線</td></tr></table> <原典リスト> <table><tr><th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr><tr><td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※庁内資料等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr></table> <調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例（〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table><tr><th>図面 対象 番号</th><th>施設名</th><th>設置主体</th><th>施設規模 (㎡、km)</th><th>利用者数 (人/年)</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>:</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					データ項目	データ型	①	C10031_レクリエーション施設_面	面	②	C10032_レクリエーション施設_線	線	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇	図面 対象 番号	施設名	設置主体	施設規模 (㎡、km)	利用者数 (人/年)	1					2					:				
	データ項目	データ型																																							
①	C10031_レクリエーション施設_面	面																																							
②	C10032_レクリエーション施設_線	線																																							
項目	原典データ	年次	入手先																																						
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇																																						
図面 対象 番号	施設名	設置主体	施設規模 (㎡、km)	利用者数 (人/年)																																					
1																																									
2																																									
:																																									

<位置図>

- ・施設分類毎に地図に表示する。
- ・データの基準日等を図面の右下に記載する。

記載例

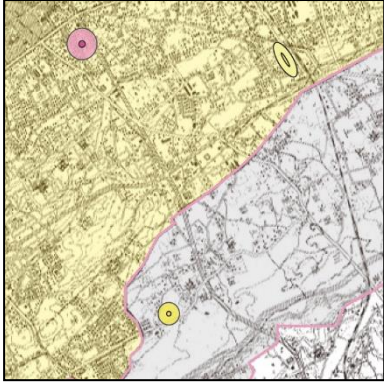


凡例		
野球場	遊園地	
陸上競技場	動物園	
サッカー場・ラグビー場	植物園	
テニスコート	競輪・競馬場	
ゴルフ場	観光有料道路	
水泳プール	サイクリングコース	
その他スポーツ施設	ハイキング・登山コース	
ボート場	自然歩道	
ヨットハーバー	キャンプ場	
海水浴場・潮干狩	その他	
市街化区域		
市街化調整区域		
行政区域		

(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)

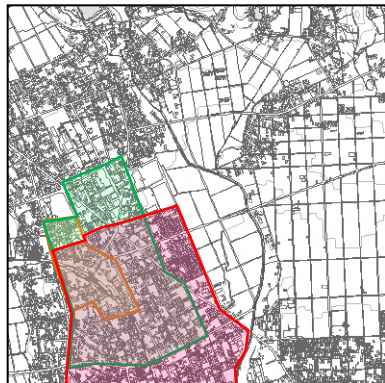
・レクリエーション施設の状況位置図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	緑 色指定(R,G,B)
レクリエーション施設		
野球場	220,230,130	150,150,150
陸上競技場	80,140,80	150,150,150
サッカー場・ラグビー場	80,140,140	150,150,150
テニスコート	150,170,60	150,150,150
ゴルフ場	240,230,80	150,150,150
水泳プール	150,140,140	150,150,150
その他スポーツ施設	250,210,170	150,150,150
ボート場	190,190,210	150,150,150
ヨットハーバー	70,80,130	150,150,150
海水浴場・潮干狩	90,110,150	150,150,150
遊園地	240,120,60	150,150,150
動物園	150,200,130	150,150,150
植物園	190,210,90	150,150,150
競輪・競馬場	240,240,140	150,150,150
観光有料道路	30,20,20	なし
サイクリングコース	230,60,50	なし
ハイキング・登山コース	80,140,80	なし
自然歩道	150,140,140	なし
キャンプ場	230,60,50	150,150,150
その他	なし	150,150,150
市街化区域	255,250,190	255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	255,160,230

データ項目	C1004 公害の発生状況（任意調査）																																																					
収集方法	【収集項目】 位置、種類、発生年、発生源、被害面積、被害の概要 【収集範囲】 行政区域 【収集単位】 公害毎 【収集方法】 庁内資料から収集 【調査基準日】令和8年3月 【留意事項】																																																					
データ作成方法	<GIS データ> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>C10041_公害現況</td><td>点</td></tr> </tbody> </table> <原典リスト> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>原典データ</th><th>年次</th><th>入手先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。</td><td>〇〇 ※庁内資料等の資料名を記載</td><td>〇〇</td><td>〇〇</td></tr> </tbody> </table> <調書> ・データの基準日等を調書の右上に記載する。 記載例（〇〇市(町)調査(基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在)) <table border="1"> <thead> <tr> <th>図対象 番号</th><th>種類※1</th><th>発生年</th><th>発生源※2</th><th>被害面積※3 (ha)</th><th>被害の概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>:</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ※1 公害の種類については、次の通りとする。（大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、土壌汚染、その他） ※2 主たる発生原因と考えられる施設等を記載。 ※3 被害面積が明らかな場合に記載。 <位置図> ・位置図上には、観測地点(ポイント)、被害区域(ポリゴン)を記載する。 ・立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。 ・データの基準日等を図面の右下に記載する。 記載例  <公害発生源> <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測地点</th> <th>被害区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>大気汚染</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>水質汚濁</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>騒音</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>振動</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>地盤沈下</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>悪臭</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>土壌汚染</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>市街化区域</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> </tr> </tbody> </table> (基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在) ※立地適正化計画が策定されている場合は、立地適正化計画の各区域もあわせて表示する。		データ項目	データ型	①	C10041_公害現況	点	項目	原典データ	年次	入手先	〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇	図対象 番号	種類※1	発生年	発生源※2	被害面積※3 (ha)	被害の概要	1						:						観測地点	被害区域	●	大気汚染	●	水質汚濁	●	騒音	●	振動	●	地盤沈下	●	悪臭	●	土壌汚染	●	その他	市街化区域	市街化調整区域	行政区域
	データ項目	データ型																																																				
①	C10041_公害現況	点																																																				
項目	原典データ	年次	入手先																																																			
〇〇 ※複数の原典データを元に作成している場合は項目ごとに分けて記載。一括して同じ場合は「一」を記載。	〇〇 ※庁内資料等の資料名を記載	〇〇	〇〇																																																			
図対象 番号	種類※1	発生年	発生源※2	被害面積※3 (ha)	被害の概要																																																	
1																																																						
:																																																						
観測地点	被害区域																																																					
●	大気汚染																																																					
●	水質汚濁																																																					
●	騒音																																																					
●	振動																																																					
●	地盤沈下																																																					
●	悪臭																																																					
●	土壌汚染																																																					
●	その他																																																					
市街化区域																																																						
市街化調整区域																																																						
行政区域																																																						

・公害の発生状況位置図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)
公害発生源		
大気汚染	240,150,190	□ 0,0,0
水質汚濁	160,200,150	□ 0,0,0
騒音	230,240,220	□ 0,0,0
振動	255,250,150	□ 0,0,0
地盤沈下	190,130,80	□ 0,0,0
悪臭	160,100,150	□ 0,0,0
土壌汚染	250,190,130	□ 0,0,0
その他	230,190,80	□ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0

データ項目	C1005 市街地の形成(任意調査)																											
収集方法	【収集項目】 明治期以降の地形図 【収集範囲】 行政区域 【収集単位】 時点毎 【収集方法】 庁内資料から収集 明治時代の参謀本部陸軍部測量局による地形図をはじめ、国土地理院の地形図、各市町村発行の地形図等を取りまとめることにより、概ね調査基準日の時点における地形図(1/2,500～1/10,000 程度のもの)を揃える。 【調査基準日】①明治中期、②大正初期、③昭和初期、④第二次大戦直前期、⑤第二次大戦直後期、⑥昭和 30 年代 【留意事項】																											
データ作成方法	<GIS データ> <table><tr><th></th><th>データ項目</th><th>データ型</th></tr><tr><td>①</td><td>C10051_市街地の形成</td><td>面</td></tr></table> <市街地変遷図> ・収集した地形図に基づき住宅等が連担し、概ね市街地を形成していると判断される区域を時点ごとに現在の地形図に図示し、時点ごとの区分が解かるように透過色にて彩色する。 ・データの基準日等を図面の右下に記載する。 記載例  市街地変遷図凡例 - 明治中期 - 大正初期 - 昭和初期 - 第二次大戦直前期 - 第二次大戦直後期 - 昭和30年代 (基準日:〇〇年〇〇月〇〇日現在) ・市街地変遷図凡例 <table><tr><th>項目</th><th>面 色 指定(R,G,B)</th><th>縁 色 指定(R,G,B)</th></tr><tr><td>明治中期</td><td>255,255,200</td><td>255,100,0</td></tr><tr><td>大正初期</td><td>200,255,200</td><td>0,200,100</td></tr><tr><td>昭和初期</td><td>200,255,255</td><td>0,200,200</td></tr><tr><td>第二次大戦直前期</td><td>120,255,255</td><td>0,100,200</td></tr><tr><td>第二次大戦直後期</td><td>255,120,255</td><td>255,0,255</td></tr><tr><td>昭和 30 年代</td><td>255,0,120</td><td>255,0,0</td></tr></table>		データ項目	データ型	①	C10051_市街地の形成	面	項目	面 色 指定(R,G,B)	縁 色 指定(R,G,B)	明治中期	255,255,200	255,100,0	大正初期	200,255,200	0,200,100	昭和初期	200,255,255	0,200,200	第二次大戦直前期	120,255,255	0,100,200	第二次大戦直後期	255,120,255	255,0,255	昭和 30 年代	255,0,120	255,0,0
	データ項目	データ型																										
①	C10051_市街地の形成	面																										
項目	面 色 指定(R,G,B)	縁 色 指定(R,G,B)																										
明治中期	255,255,200	255,100,0																										
大正初期	200,255,200	0,200,100																										
昭和初期	200,255,255	0,200,200																										
第二次大戦直前期	120,255,255	0,100,200																										
第二次大戦直後期	255,120,255	255,0,255																										
昭和 30 年代	255,0,120	255,0,0																										